

# 令和2年度 事業報告

先般、国内の障がい者スポーツを統括する日本障がい者スポーツ協会では、「障がい者スポーツ」という言葉を、地域行政・企業のイベントや、マスコミ等において既に一般的に使用されている「パラスポーツ」(もう一つのスポーツ)に置き換えて使用する方針を決めた。

これは、「パラスポーツ」という言葉の一般化の進展に加えて、「一般に行われているスポーツをベースに障がいの種類や程度に応じてルールや用具を工夫した、障がいのある人のために考案されたスポーツ」という特徴や、ポッチャなどのように「障がいのある人もない人も共に実践して楽しめるスポーツとして発展していく可能性を秘めたスポーツ」という将来性についてアピールする狙いがあり、障がい者が行うリハビリや福祉という従来のイメージからの転換を図るという思惑もある。

当協会が令和2年度に計画していた多くのパラスポーツ事業は、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスによって、中止を余儀なくされた。スポーツの日常を取り戻すための試行錯誤が続いている。

## I 大会開催等の事業（公益目的事業1）

～障がい者スポーツの競技力向上と振興を図るための大会開催等の事業～

### 1 大会開催事業

#### (1) 第58回北海道障がい者スポーツ大会

身体障がい者及び知的障がい者が、スポーツを通じて体力の維持増進を図り、障がい者の自立と社会参加を促進させるとともに、障がいに対する道民の理解を深め、本道における障がい者のスポーツをより発展させることを目的として本大会を計画したが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催を中止した。

北海道における緊急事態措置が5月末まで延長され、開催地である石狩管内の新規感染者が連日発生するなど、極めて厳しい状況にあることを勘案し、6月中旬に書面開催した緊急実行委員会において大会の中止を決議し、道及び当協会と協議の上、6月26日に開催中止を正式決定した。

■開催年月日 令和2年10月4日（日）・18日（日） ※開催中止

■開催市町村 江別市・千歳市・恵庭市・石狩市・北広島市

■参加予定数 選手600人 役員等600人 合計1,200人

実施競技	開催地	競技会場	開催日
陸上競技	千歳市	千歳市青葉陸上競技場	10/4
車いすバスケットボール	恵庭市	恵庭市総合体育館	10/4
バスケットボール	江別市	江別市民体育館	10/4
サッカー	石狩市	はまなす国体記念石狩市スポーツ広場	10/4
ソフトボール	石狩市	はまなす国体記念石狩市スポーツ広場	10/18
フットベースボール	北広島市	北広島市緑葉公園野球場	10/4

## (2) 第40回北海道障がい者冬季スポーツ大会

障がい者が冬季スポーツを通じて、健康な心身の維持増進を図り、希望と勇気を持って社会に参加するとともに、道民の共感を呼び起こさせ、ノーマライゼーションの理念の浸透を促進させることを目的として本大会を計画したが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催を中止した。

道の警戒ステージが11月に引き上げられた以降も、全道各地でクラスターが確認されるなど、感染拡大が続いている状況を鑑み、12月上旬に緊急の実行委員会を书面開催し、大会の中止を決議の上、道及び当協会との協議を経て、12月19日に大会の開催中止を正式に決定した。

■開催年月日 令和3年2月21日(日) ※開催中止

■開催地 網走市

■参加予定数 選手100人 役員等200人 合計300人

競技名	ランク・距離	競技会場
大回転競技	Aランク600m Bランク400m Cランク250m	網走レークビュースキー場
距離競技	Aランク3000m Bランク1000m Cランク500m Dランク150m	てんとらんどクロスカントリースキーコース

## (3) はまなす車いすマラソン2020

障がい者が車いすマラソンを通じて、お互いの理解と親睦を深めるとともに、希望と勇気を持って社会に参加する意欲を喚起させ、障がいに対する道民の理解を深め、障がい者スポーツの振興及びノーマライゼーションの理念の浸透を図ることを目的として本大会を計画したが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催を中止した。

合同開催の北海道マラソンが休止することに伴い、ハーフマラソンを休止し、ショートレースを真駒内公園内の園路コースで開催する準備を進めていたが、札幌市内でも集団感染が多発し、更なる感染拡大も懸念されたことから、実行委員会の同意を得て、5月29日に中止を正式決定した。

■開催年月日 令和2年8月30日(日) ※開催中止

■開催地 札幌市

■参加予定数 選手100人 役員等400人 合計500人

実施競技	競技コース
ショートレース(オープン競技) 5km・3km・1kmコース	真駒内公園内コース(真駒内公園屋外競技場発着)

## (4) 競技別スポーツ大会(主催・共催)

障がい者が競技等を通じて、スポーツの楽しさを体験するとともに、健康の維持増進、機能回復を図り、参加者との交流を深めることにより、障がいに対する道民の理解を深め、社会参加の意欲の向上を図ることを目的として7大会を計画したが、新型コロナウイルスの影響を受け、全ての大会開催を中止した。

全道域に感染が拡大している状況を踏まえ、基礎疾患のある選手や高齢の選手も少なくないことから、参加選手及び大会関係者の安全を確保することが極めて困難であると判断し、4月17日にタンデムサイクリング、5月29日にアーチェリー、9月以降に開催予定の大会は6月29日に開催中止を決定した。

大会名	開催日
	会場名
第 35 回北海道身体障がい者アーチェリー競技大会	令和 2 年 8 月 2 日 (日) ※開催中止
	帯広の森アーチェリー場 (帯広市)
タンデムサイクリング大会	令和 2 年 8 月 30 日 (日) ※開催中止
	道立野幌総合運動公園 (江別市)
第 31 回北海道障がい者水泳大会	令和 2 年 9 月 13 日 (日) ※開催中止
	平岸プール (札幌市)
第 26 回北海道障害者フライングディスク大会 (共催)	令和 2 年 9 月 27 日 (日) ※開催中止
	北海道教育大学岩見沢校 (岩見沢市)
第 34 回北海道身体障がい者ゲートボール大会	令和 2 年 10 月 10 日 (土) ※開催中止
	宮の沢屋内競技場 (札幌市)
第 32 回北海道障がい者ボウリング大会	令和 2 年 10 月 18 日 (日) ※開催中止
	オタルボウル (小樽市)
第 32 回北海道障がい者卓球競技大会	令和 2 年 11 月 23 日 (祝) ※開催中止
	札幌市身体障害者福祉センター

## 2 大会派遣事業

### (1) 第 20 回全国障害者スポーツ大会派遣

障がいのある選手が、障がい者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的として大会派遣を計画したが、新型コロナウイルスの影響により、大会開催が延期になったことから、北海道選手団の派遣を中止した。

10月の鹿児島大会に向けた5月の強化合宿は感染拡大防止の観点から中止し、その後の状況を注視していたが、6月に開催予定の北海道・東北ブロック団体競技予選会が全競技中止となり、本大会の開催見送りが6月中旬に正式発表された。鹿児島大会は3年後の令和5年に延期開催される。

次年度の令和3年に開催される三重大会に派遣する選手を選考する委員会を令和3年2月に書面開催し、個人競技に出場する70名の代表選手を選定した。

#### ■強化合宿 ※中止

第1班 令和2年5月22日(金)～24日(日) 道立野幌総合運動公園 (江別市)

第2班 令和2年5月29日(金)～31日(日) 道立野幌総合運動公園 (江別市)

#### ■北海道・東北ブロック予選会 ※中止

令和2年6月 (団体競技)

#### ■選手団派遣 ※中止

令和2年10月22日(木)～27日(火) 鹿児島県 選手72人・スタッフ40人

#### ■大会開催 ※延期

令和2年10月24日(土)～26日(月)

## ■ 競技会場

式典/競技名	式典/競技会場	派遣選手数
開・閉会式	県立鴨池陸上競技場（鹿児島市）	—
陸上競技	県立鴨池陸上競技場（鹿児島市）	32人
水泳	鴨池公園水泳プール（鹿児島市）	9人
アーチェリー	鹿児島ふれあいスポーツランド（鹿児島市）	2人
卓球	鹿児島アリーナ（鹿児島市）	12人
フライングディスク	県立サッカー・ラグビー場（鹿児島市）	11人
ボウリング	サンライトゾーン（鹿児島市）	6人
団体競技	始良市総合運動公園体育館（始良市）ほか	
	計	72人

## ■ 派遣選手選考委員会（第21回全国障害者スポーツ大会「三重県：R3.10.23～25」）

書面開催（令和3年2月10日決議） 選考委員12名

## II 指導者育成等の事業（公益目的事業2）

～障がい者スポーツを普及啓発するための指導者育成等の事業～

### 1 指導者育成事業

#### (1) 障がい者スポーツ競技指導者研修会

障がい者スポーツの振興と競技力向上にあたる指導者の資質と指導力の向上を図るため、障がい者スポーツ指導者を養成することにより、障がい者の自立と社会参加を促進するとともに、障がい者スポーツ環境の一層の充実を図ることを目的として本研修会を計画したが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催を中止した。

第58回北海道障がい者スポーツ大会の競技運営を担う審判員を主な対象とした研修会であることから、本大会の中止に伴い、研修会も全て中止となった。

#### ■ 競技指導者研修会 ※開催中止

研修会名	実施予定	研修対象団体
陸上競技審判研修会	令和2年8月	道央陸上競技協会
車いすバスケットボール競技審判研修会	令和2年8月	恵庭バスケットボール協会
フットベースボール競技審判研修会	令和2年9月	北広島軟式野球連盟

#### (2) 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

障がい者の適性に応じたスポーツやレクリエーションの実施方法及びリハビリテーションとの関連性等について講習を行い、主として身近な障がい者に対してスポーツの喜びや楽しさを理解させるための指導者を育成することを目的として本講習会を計画したが、新型コロナウイルスの影響

を受け、開催を中止した。

感染状況に留意しながら講習会の開催の準備を進めていたが、道の警戒ステージが講習会の初日から「3」に引き上げられることが判明し、急遽、講習会の前日に中止を決定した。

- 開催年月日 令和2年11月7日（土）～9日（月） ※開催中止
- 開催地 札幌市（北海道青少年会館コンパス）
- 受講定員 30名
- 講習内容 全21時間（講義・実技）

## 2 普及啓発事業

### (1) 障がい者スポーツ教室

スポーツに親しむ機会の少ない障がい者が、障がいの特性に応じたスポーツを生活の中に取り入れるための契機となるよう、各種スポーツのルールや基本的な技術を修得するとともに、スポーツに親しみ、多くの仲間と交流しながら、社会参加意欲の向上を図ることを目的として実施した。

年度初めにスポーツ教室の実施団体を募集したが、コロナ禍における事業ということもあり、募集に応じた団体数は例年に比べて少なく、7回の教室を実施し、延べ119人の方々が参加した。

名寄市で開催した「ランニング教室」では、スキー・ノルディック複合のオリンピック金メダリストの阿部雅司氏を講師に招き、ランニングの楽しみ方をテーマに、参加者はストレッチ、短距離走やチームリレー等を体験し、広いグラウンドで心地良い汗を流した。

室蘭市の「タンデムサイクリング教室」は、翌日の地元新聞2紙に取材記事が掲載され、障がい者スポーツの楽しさを広く市民にアピールすることができた。会場ではコロナ感染対策として、自転車やヘルメットの消毒を徹底し、参加者の安全を図った。

#### ■スポーツ教室開催状況

対象競技	教室実施日	教室会場	参加者数
水泳（2回）	令和2年7月11日	網走市民健康プール	7名
	令和2年8月8日		7名
ボウリング	令和2年8月2日	網走ヤングボウル	7名
ランニング	令和2年8月26日	なよろ健康の森 陸上競技場	54名
サントテーブルテニス	令和2年9月13日	千歳市総合福祉センター	10名
タンデムサイクリング	令和2年9月27日	室蘭市入江運動公園陸上競技場	23名
フロアカーリング	令和3年2月11日	帯広市グリーンプラザ	11名
ボウリング	令和2年11月22日	岩見沢市ボルタトーホーボウル (新型コロナウイルスの影響により中止)	-
合計			119名

### (2) 全道巡回障がい児者スポーツ教室

本道の障がい児者が、身近な地域において自主的、積極的、継続的にスポーツに参加できる環境づくりを目指し、道内の総合型地域スポーツクラブと連携・協働し、地域の障がい者スポーツの振興体制を整備することを目的として実施した。

本年度は、新たな5クラブの協力を得て、各3回の教室開催事業を計画し、コロナ禍の影響により1回の開催となった音更町のクラブを除き、計画どおりの教室開催を実施することができた。

クラブの担当スタッフ、コーディネーター、当協会の三者間の連携を密に取りながら、新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底し、円滑な事業運営を行った。

本事業のコーディネーターを担う指導経験が豊富な上級スポーツ指導員は、障がい者スポーツの拠点づくりに必要なメニューを各クラブに提供し、地域の実情に応じたアドバイスや指導を行った。

実施した5クラブでは、このたびの事業を契機として障がい者スポーツに大きな関心を寄せており、あるスポーツクラブでは、クラブ主催の講習会「障がい者スポーツと支援のあり方」を企画立案するとともに、本事業に一般参加した地元の障がい者スポーツ指導員に講習会の講師を依頼するなど、地域との関係性を深める契機となった。

■全道巡回教室開催状況（協力：道内5ヶ所の総合型地域スポーツクラブ）

スポーツクラブ	開催日(曜日)	会場	内容	参加者数
さっぽろ運動あそびクラブ (札幌市)	R2. 7. 27(月)	札幌市立緑丘小学校	フライングディスク・ボッチャ	53名
	R2. 10. 19(月)	札幌市立緑丘小学校	フライングディスク・ボッチャ	48名
	R2. 12. 14(月)	札幌市立緑丘小学校	コーン輪投げ・フラーフ等	54名
よいスポ (余市町)	R2. 8. 31(月)	余市町総合体育館アリーナ	車いす試乗・フライングディスク	7名
	R2. 10. 26(月)	余市町総合体育館アリーナ	車いす試乗・フライングディスク・ボッチャ	60名
	R2. 12. 21(月)	余市町総合体育館アリーナ	サッカー・シッティングバレー	60名
N-link. (沼田町)	R2. 8. 16(日)	沼田町民体育館	スタッフ研修・体験会	8名
	R2. 11. 8(日)	沼田町民体育館	車いす試乗・フライングディスク・ボッチャ	22名
	R2. 12. 20(日)	沼田町民体育館	コーディネーション運動	19名
とらいあんぐる 946 (釧路市)	R2. 8. 8(土)	湿原の風アリーナ釧路	車いす試乗・フライングディスク・ボッチャ	12名
	R2. 10. 10(土)	湿原の風アリーナ釧路	トランポリン	12名
	R2. 11. 21(土)	湿原の風アリーナ釧路	トランポリン	14名
おん・おーる (音更町)	R2. 7. 19(日)	旧昭和小学校	スタッフ研修・体験会	7名
	-	(新型コロナウイルスの影響により中止)		-
	-	(新型コロナウイルスの影響により中止)		-
合計				376名

(3) 会報紙の発行

当協会の事業内容や活動状況などの情報発信を行うことを目的として、会報紙「飛躍」を隔月で年6回発行した。発行部数は500部で、購読者は賛助会員をはじめ当協会の事業の協力団体であり、スポーツ大会の情報をメインに、タイムリーな記事を定期的に提供した。

コロナ禍の影響により、当協会の事業が執行できない状況が続き、掲載する記事に苦慮することも多かったが、空いたスペースを逆利用し、他の団体が取り組んでいる障がい者スポーツ振興事業の紹介記事を積極的に大きく取り上げたことにより、多種多様な情報を提供することができた。

#### (4) ホームページの運用

当協会の活動内容や最新の障がい者スポーツ情報をリアルタイムで発信することを目的として、ホームページを運用した。スポーツ事業情報や財務諸表などの情報公開サイトは継続的なデータ更新に努め、ユーザーに対するサービスの向上を図った。

本年度は、コロナウイルス感染防止の観点から当協会の様々な事業を中止することになったが、その都度、タイムリーにホームページ上において正しい情報をリリースすることができたので、当協会とユーザーの間で大きな混乱を生じることはなかった。

### 3 団体助成事業

#### (1) 障がい児者スポーツ団体助成

道内を活動拠点とする「障がい児者スポーツの振興事業を行う団体・グループ」への支援を通して、本道における障がい児者のスポーツの裾野の拡大を図るとともに、障がいに対する道民の理解を深め、障がい者の社会参加の促進に寄与することを目的として実施した。

助成の募集にあたっては例年同様に、資金提供元の北洋銀行の本支店に掲示する募集ポスターを前年度の3月に作成の上、4月1日から30日までの一ヶ月を募集期間として設定したが、本年度はコロナ禍の影響もあり、応募総数が9団体と低調であった。

5月上旬に審査会を書面開催し、審査結果を理事会に答申した上で、助成先の9団体を正式決定した。助成決定通知書の授与式は行わず、助成先に決定した団体に通知書を郵送した。9団体の活動地域は道内の6市町に及んでおり、全道域に助成のニーズがあることの証左と言える。

本道の障がい児者のスポーツ振興を促進するためには、障がい児者スポーツ団体への継続的かつ効果的な支援が不可欠であり、本事業を今後も継続実施し、道内の障がい児者が主体的にスポーツに参加する機会の充実や環境の整備を図る必要がある。

#### ■助成先団体及び助成額

No.	団体名（所在地）	助成額
1	一般社団法人 札幌市障がい者スポーツ指導者協議会（札幌市）	10万円
2	パラ・スポinえべつ実行委員会（江別市）	10万円
3	あいべつ校 OBチーム（東川町）	10万円
4	パラレルクラブ（旭川市）	10万円
5	フロンティアスポーツ部（白老町）	10万円
6	シーガルサッカークラブF.I.Dドリーム（札幌市）	10万円
7	神威（旭川市）	10万円
8	北海道ボッチャ協会（岩見沢市）	10万円
9	北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブ（札幌市）	10万円
	合計	90万円

### III 管理部門

#### 1 会務状況

##### (1) 監事監査

実施日	実施場所	監査内容
令和 2 年 4 月 27 日	書面監査 ※新型コロナウイルスの影響により、書面監査	・ 令和元年度事業報告及び決算 ・ 理事の職務の執行

##### (2) 理事会

開催日	開催場所	主な議案
令和 2 年 5 月 25 日	書面開催 ※新型コロナウイルスの影響により、みなし決議	○第 1 回理事会 ・ 令和元年度事業報告の件 ・ 令和元年度決算書類の件 ・ 団体助成事業に係る助成先団体の選定の件 ・ 令和 2 年度定時評議員会の招集の件
令和 3 年 3 月 12 日	書面開催 ※新型コロナウイルスの影響により、みなし決議	○第 2 回理事会 ・ 令和 2 年度収支補正予算書の件 ・ 令和 3 年度事業計画書及び収支予算書等の件

##### (3) 評議員会

開催日	開催場所	主な議案
令和 2 年 6 月 16 日	書面開催 ※新型コロナウイルスの影響により、みなし決議	○定時評議員会 ・ 令和元年度決算書類の件